

「受容能力を試されているのかなあ～」へのコメント

病気のことは全くプライベートなことであり、正直、HPで公表するのを迷いました。

日頃、障害児の親たちや学生たちには「まずは発信する勇気を持つこと！」と話してきている手前、自分自身の生き様を発信しないと、みなさんに「まず発信を！」と話している想いが伝わりませんものね（笑）。

まあ、相手はガンという病気ですので先々どうなるか分かりませんが、なんとかうまく付き合っていければと思っています。

人は、色んな事情を抱えて生きていますので、ガンも自分の属性が一つ加わったものと思いい、それを含めてこれからの我かなと思っています。

人はそれぞれの事情を抱えていても、事情とは関係なく本質的に人としてお互いに係わり合うことが大事ですものね。

こうした思いから、当 HP 記事「受容能力を試されているのかなあ～」で公表しましたが、記事を目にしたメル友から、早速コメントをいただきましたので、抜粋ですが紹介します。

阿部幸泰 （2013. 11. 5. 現在）

・先生の、がんというご病気の受け止め方は、流石だなと思いました。

そして、考えさせられました。

お体を大切になさっていただきたいです。

情報化社会となり、情報を発信することの難しさを考えます。

しかし先生のように「あらいざらいを発信する」という考え方も大切だと思います。そういうことができるのは強い心があってこそです。

何も言わなければ、何もはじまらないし、誰も助けてくれないし、誰のことも助けられない。発信すること受信することを大切にしたいです。

・ひさしぶりに阿部さんのホームページを拝見し、現在、阿部さんが闘病中であられるこ

とを知りました（阿部さんからすると「闘病」ということではないかもしれませんが、生きていく上で抱える条件が一つ増え、その事実を淡々を見つめ、その上でその条件とうまく付き合いながら生命活動を展開していくということでしょうか）。

あらためて、阿部さんはやはり阿部さんで、ご自身の生き方、考え方を実践されている姿に敬服しましたし、また納得しました。

また、阿部さんと一番最初にお会いしたときに阿部さんからお話しいただいた「思想は行動である」という言葉を、そのお話しいただいた場面とともに思い出しています。

阿部さんも私もいつ生命活動が終止するかわからない、私も、阿部さんのようにはいかないかもしれませんが、常に自分の生命活動がいつか終わることを思いながら仕事を進めていきたいと思います。

こうしたことを私は阿部さんから学び、〇子さんから学び、〇〇〇病院のみなさん、出会った子どもさん、また父から学ばせていただいてきましたし、学ばせていただいています。

私も自らの思想と実践とをもってしてこうしたことを伝えられるような人間に成長していきたいと思います。

また阿部さんのお話をぜひお聞かせください。

・先生のブログを拝見し、ご入院なされていたことに、驚きました。

その後、お元気にお過ごしとのこと、安心しましたが、びっくりしました。

私たちに、講義をして下さっていた間も、お体大変だったのかもしれないと思うと、改めてご教授いただけたことに、感謝の気持ちがわきました。

先生が毎日、元気でお過ごしになられることを心からお祈りしています。

・退院おめでとうございます。<(_ _)>

3週間って結構長かったですね。お務めごくろうさまでした(口_口)ゞ

やっぱり我が家が一番でしょうね。

私は、「あるがまま、なるがまま...」の記事を読んでなかったのでびっくりしましたよ。

でもご自分の状態や気持ちを客観的に分析されているので、先生やっぱりすごいですね。

副作用が少なかったといっても体はやはりきついでしょうからぼちぼちと無理しないで下さいよ。

特にこれから寒くなりますから風邪に気をつけて下さい。こじらせるとやっかいです。

それから食欲が落ちても今はいろいろ工夫されたものが市販されているのでしっかりカロリーをとって下さいね。

・ホームページでがんのことを知り、びっくりしております。

がんと聴くとすぐに死の病と思い込んでしまいますが、今の医療は本当に凄いですですすからね。

阿部さんも大丈夫！！

私の頭の中も大丈夫！！

・外来での治療とのこと、抗がん剤がうまく作用してくれることを願っております。

阿部さんが書いた「カミングアウト」のことですが、阿部さんがおっしゃる通り「あるがまま」が良いのではないのでしょうか…。

私は「カミングアウト」という言葉はあまり好きではありません。

「カミングアウト」というと、何となく世間では受け入れられていないことを公にするというイメージがあります。

それ故、それを言った途端に離れていく人も出てきたりする、そんなイメージがあります。

しかし、それは裏を返すとそれを聞いた人自身が自分に問いかける機会にもなるようにも思います。

「聞いてはいけない（聞きたくはなかった）ことを聞いてしまった」と思う人は、そのこと自体に否定的なイメージを持っている人でしょうし、そう思う人であればそれまでの人だったと思うしかないようにも思います。

むしろ、それを聞いたとしてもなお、その人のことを知りたいと思ったり、その人のためにできることは何だろうか…と自問自答する人の方が阿部さんの周りには多いように思い

ます。

私は、阿部さんが「カミングアウト」する以前に、行きがかり上そのことを知らされた立場ではありますが、少なくとも私の知る限り、阿部さんはそうした事実を淡々と受け入れられる人だと思いますし、私が余計なことを言わずとも阿部さんは阿部さんとして事実に向き合っているのだなあと思っております。

到底私が足元にも及ばない存在であることは承知しつつも、自分もそうした事態に遭遇したならば阿部さんのように泰然自若としてことに臨める人間でありたいと思っています。

ですから、今の阿部さんから、私は多くのことを学ばせていただいていると思っています。

阿部さんにはあまり「カミングアウト」ということにこだわらずに、伝えたい相手ならば伝えていただく、伝えたくない相手ならば敢えて伝えなくても良い…くらいに考えていただければ…などと勝手に思っている次第です。

逆に、その方が人のいろいろな側面が見えて来ると言っては言い過ぎでしょうか…？

阿部さんにこんなことを言うのは不謹慎かと思いますが、自分も含め人はいつの日か必ず最期のときがやってくる、そのときが近づいている人を最期まで看取るということも残された人間の責務であるように感じます。

ましてや恩義のある人に対してはなおさらのことだと思っています。

私が母を看取った経験からも、それは私の中では確信できることです。

もちろん、阿部さんには奥様もお子さんたちもいらっしゃるのですが、私がそこまで出しゃばるつもりはありませんが、こうしたメールのやりとりで少しでも阿部さんの気が紛れたりするのであれば幸いです。

何やら訳のわからないメールになってしまいました。

お気に触る部分があればいつでもご指摘ください。

・ご無沙汰しています。

HP 拝見しました。

体調崩されたとの事、心配しています。

快方に向かわれることをお祈りしています。

・久しぶりにHPをのぞき、驚きました。

具合がよくないのは聞いていましたが、もう第一回の点滴が終わったのですね。

だいぶ前からお身体のことを公開されていたのに、全く気づかずにおりました。

それにしてもとても個人的なことを公開するなんて ...。

今更ながら阿部先生の発信することへの責任感と潔さを思いました。

実は私の娘も今年7月に手術をし、現在抗がん剤治療をしているところです。

(がんは取りきって転移もないのですが、予防のために点滴をしています)

先生のHPにもありましたが、がんを消す以前に抗がん剤で殺されるんじゃないか ...

と私もいつも思っています。

当初は誰とも話しをしたくない気分でしたが、再発が見られない事、抗がん剤もあと1回で終わりという事もあり、今では本人も家族も楽天的な気持ちであります。

病気の事、特にがんの事を他人へ話すのは難しいですね。

昔からの「がん＝死」というイメージが強すぎて、返事に困ってしまうのでしょうかね。

気を使われるのが一番嫌で話す事ができませんでした。

「変な気遣いなく従来どおりに ...」、本当にそう思います。

治療は大変でしょうが、お疲れにならないようにご自分のペースで頑張ってください。

副作用があまりなくてよかったですね。

奥様にとって、素直な、いい患者になってください。

抗がん剤で免疫力が低下していますから、風邪やインフルエンザにはくれぐれも注意してください。

・いつものようにHPを見ると、治療って..。

驚きました。

お体の調子は、いかがですか？体調が万全じゃないなか、私達の講義を担当していただいていたのですね。

わからなかったとはいえ..、たくさん教えていただき感謝でいっぱいです。

・入院されているということ「雑学」で知りました。

病院でも普段と変わらない生活をしようとする姿勢には、心打たれるものがあります。

・出張先から携帯でメールします。

ひとまず退院とのこと、ひと安心しました。

今の状態を維持できれば大丈夫ということだと、なお安心なのですが…。

いずれまたメールさせていただきます。

・阿部さんは何処にいてもしっかりとお仕事をされているな～と感心させられます。

抗がん剤治療、気力と体力の勝負ですね。

私などは人一倍気力に関しては自信がないので、途中で治療は諦めるだろうな…と思ってしまう。

いずれにしても、副作用が少ないことを願っています。

・阿部さんらしいですね。 全く…。

副作用が少なく、良かったですね。本当に人によりますものね。

私がてんかんボーダーってことで、知り合いのお母さんが、こどもを見ていても副作用の怖さを感じるとか。だから、なるべく、てんかん薬は飲まなくていいなら…とおっしゃっていたのを思い出しました。

てんかん薬と、抗がん剤では、また、違うと思いますが、いい作用も、悪い作用もあり。

医学としても、難しいところなんでしょうけど。

あるがままを受け入れるのも、時間がかかるものなんだと思ってます。

息子さんはさすがですね。いい関係だなあ〜と感じます。

・今年度も、素晴らしいご講義をいただき誠にありがとうございました。

ご体調の万全でない中、当学科の講師をお勤めいただき、心より感謝いたしております。

仕事に疲れはてたとき、反芻する言葉があります。

【心は休ませてもいいけど身体は休まずな】

先生が、学生に言ってくださった言葉と聞きました。

先生の真意を、その場にいなかった私は知ることはできません。

ですが、私は、人生を乗り切るためのマジックワードと受け取りました。

だから私は、どんなに疲れた朝も何も考えずに靴下をはきます。

多くの局面を、この信念に救われました。

どれほどの人たちが先生の存在によって踏ん張ってきたことでしょう。

たくさんの種を学生たちに、そして私たちに蒔いてくださったことに感謝をせずにはいられません。

先生の怒りに、警句に、笑いに、背中を伸ばされ、どつかれそして押されてやってきました。

ご快復を心からお祈りします。

今はすべてのエネルギーをご自身が喜ぶことに使って下さることを、お祈りします。

そして、エネルギーの余剰ができたときに、あまた先生を慕って集う者たちに波に流されそうになる未熟な船頭たちに皮肉な笑顔を見せてやってくだされば幸いです。

又、お会いできる日を楽しみにいたしつつ。